

胃外科

内視鏡治療適応の早期胃癌から切除不能進行胃癌まで進行度にあわせて適切な治療を行います。腹壁ヘルニア（鼠径部ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア、会陰ヘルニアなど）の手術にも力をいれております。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後		○	○		○



得意とする疾患と担当医師

●胃癌に対するロボット支援手術(ダビンチ、hinotori、Saroa)

徳永 正則(准教授)、谷岡 利朗(講師)、奥野 圭祐(助教)

●胃癌に対する腹腔鏡手術/内視鏡外科学会技術認定医(胃)を3名が取得済み

徳永 正則(准教授)、谷岡 利朗(講師)、奥野 圭祐(助教)

●食道胃接合部癌に対する集学的治療/食道外科と連携して適切な治療を提供します

徳永 正則(准教授)、谷岡 利朗(講師)、奥野 圭祐(助教)、藤原 尚志(助教)、小郷 泰一(助教)、
滋野 高史(助教)



特色・診療内容

2000年代に胃癌に対して腹腔鏡手術を導入し、積極的に低侵襲手術を行ってきました。近年はロボット支援手術に力を入れています。当院では2017年11月よりダビンチXiを用いていますが、2020年7月より2台目のダビンチX、2023年10月からは3台目のダビンチXiを導入し、さらにロボット手術に力をいれて診療を行っています。低侵襲手術を希望される、あるいは興味のある患者さんがいらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。

最近増加傾向の食道胃接合部癌は、領域の重なる食道外科と統一方針で治療にあたっています。紹介先に迷われた際には、当科にご紹介いただいても、食道外科にご紹介いただいても、治療方針・治療内容が異なることはありませんので、ご安心ください。

また、鼠径部ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア、膀胱ヘルニア、会陰ヘルニアなどの腹壁ヘルニアの治療にも力をいれております。腹腔鏡や手術支援ロボットによる低侵襲手術も積極的にっておりますので、お困りの患者さんがいらっしゃいましたらご相談下さい。



専門外来

胃癌の治療は、内視鏡治療、手術、化学療法と多岐にわたります。消化器内科と臨床腫瘍科と密に連携をとりつつ診療にあたっておりますので、紹介先の診療科に迷われるようであれば、まずは胃外科宛にご紹介ください。

初診時に切除不能と診断された場合も、化学療法が著効し根治切除可能となれば積極的に切除を検討しています。免疫チェックポイント阻害剤を含む化学療法の進歩により、根治切除可能となる可能性は増加傾向にあります。切除不能との判断であっても、諦めずにご紹介ください。

腹壁ヘルニアは一般的な病院でも敬遠されがちな疾患です。治療を受けられずにヘルニアが大きくなっていく患者さんも多く見られます。困っておられる患者さんがおられましたら、気軽に専門外来に御紹介ください。



お願い

大学病院の良さとして、複数の診療科、多職種を有しており、様々な併存症を伴う患者さんにも対応可能です。併存症が多い患者さんであっても、遠慮なくご相談ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

※詳細はP.7をご覧ください。